

平成 3 1 年度の事業報告書

平成 3 1 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 3 1 日まで

特定非営利活動法人ようこそ小城

1 事業の成果

・本年度も小城市の委託事業の仕様に基づいた事業を行いました。相談対応業務、団体調査業務などを小城市市民活動センターで行って来ました。調査研究では久留米市、鳥栖市の市民活動センターの視察を行いました。

・協働推進事業市民協働啓発業務は「市民活動推進イベント」として「おぎの未来デザイン」を行いました。佐賀女子短期大学理事長と泉万里江さんを招聘し小城市の水害状況について話してもらい、小城市の地図をもとに被害状況を確認し、今後の対策について参加者とともに話し合いをしました。協働のまちづくり講座を 5 回、濱野昌志氏、久保山孝陸之氏、山田大五郎氏、長廣百合子・遥夫妻、増本守氏をそれぞれお招きして行いました。苦勞して事業を作り上げる生き様を学びました。

・自主事業として「ヨガ」「パソコン教室」「スマホ教室」を行い、「ヨガ」事業は毎週土曜日に定着し、コンスタントに集客が出来るようになりました。「パソコン教室」では windows10 へのバージョンアップの依頼が 30 件以上ありました。

・本年度も引き続き「ふるさと・夢つむぎネットワーク」「小城フットパスクラブ」「小城ファッションリサーチ研究会」「笑うて暮らそうやっ会」などの団体を中心に団体運営の支援を行い、助成金の獲得、事業獲得で活発に事業を行う事が出来ました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 地域コミュニティづくりに関する事業	協働のまちづくり講座で 5 回の講座をお願いした。 ア. 高速道路を活かしたまちづくりへのチャレンジ イ. SDGs の地方創生 ウ. 風を切る人生 bikeislife 自転車を通り下地方創生 エ. はじめよう、夫婦会議 世帯経営ノートを通じ	(A) ア. 9 月 5 日、 イ. 9 月 19 日 ウ. 10 月 3 日 エ. 10 月 17 日 オ. 10 月 21 日 (B) ア、イ、ウ、 エはゆめぶらっと小城会議室。オ. は市民活動センター (C) いづれも 3 名	(D) 市内の市民活動団体に所属している人、これから市民活動をはじめたい人 (E) 各回 18～22 名	450

	た地方創生 オ.世界の空を利用可能にするドローンを通じた地方創生	つつ		
②地域の環境を守る事業	「ふるさと・夢つむぎネットワーク」や「笑ろうて暮そうやっ会」の助成金取得や協働での活動の実施 「ふるさと・夢つむぎネットワーク」毎週三里の山での梅畑の整備、開墾地などの草刈り。 「笑ろうて暮そうやっ会」でセブン・イレブン記念財団の助成金を獲得、石体で花植え活動を2回行った。Ⅰ、Ⅱ	(A) 通年牛尾の山 (B) 牛尾の山 (C) 延べ300名	(D) ふるさと夢つむぎネットワークの会員及び三里の住民 Ⅰ.Ⅱは笑ろうて暮そうやっ会のメンバー及び石体の住民 (E) 延べ500名 Ⅰ.13名 Ⅱ.11名	300
③ICTの普及に関する事業	ア. パソコン教室の運営支援 イ. スマホ教室	(A) ア.23日 イ.12日 (B) ゆめぷらっと小城市会議室 (C) 各2名	(D) 小城市内住民 (E) ア.154名 イ.47名	100
④市民活動に関する相談及び助言、普及並びに情報収集	相談対応業務 小城市の委託事業として相談対応業務を行いました。	(A) 274日 (B) 小城市市民活動センター (C) 6名	(D) 小城市内の地縁団体、志縁団体 (E) 150名	3,000
	団体情報収集業務 登録団体は小城市のHPやガイドブックに掲載、本年度5件の登録があり、合計登録団体は45件になりました。	(A) 274日 (B) 小城市市民活動センター (C) 3名	(D) 小城市内の地縁団体、志縁団体 (E) 150名	2,675
	市民協働の啓発出前講座事業 16面のパワーポイントとリーフットを用いて1回20分ほどの出前講座を行いました。	(A) 3回実施 1回目：ふれあい会食会 2回目：普茶料理 3回目：小城町民生委員児童委員協議会	(D) 小城市内の地縁団体、志縁団体 (E) 1回目：24名 2回目：16名	20

		(B) 1回目:小城公民館晴田支館 2回目:小城公民館晴田支館 3回目:小城保健福祉センター桜楽館 (C) 各回2名	3回目:36名	
⑤ 市民活動を行う者同士及び公共部門の又は民間部門との連携事業	おぎの未来デザインを市民活動推進イベントとして開催。今回は学校法人旭学園理事長内田信子氏と佐賀女子短期大学泉万里江氏を招聘し、水害当日のことに関して参加者と意見を交わしてもらいました。水害時に自分は何ができるのかを考える時間になりました。またブース設置13団体との交流も行った。今後の団体活動のヒントが数多くあった。	(A) 1月18日 (B) ゆめぷらっと小城天山ホール (C) 6名	(D) 小城市内の地縁団体、志縁団体 (E) 70名	200
市民活動に関する政策提言	佐賀県CSO提案型協働創出事業参画。小城市内の団体から提案を受け付けた。県並びに小城市への提案1件ずつでいずれも不採択でした。	(A) 90日 (B) 小城市市民活動センター (C) 2名	(D) 小城市内の地縁団体、志縁団体 (E) 15名	11